



	7 月				8 月			
	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
本年	30.7	26.0	28.0	109.5	31.3	25.8	28.1	87.5
平年	31.3	26.1	28.3	123.8	32.1	26.1	28.7	181.0
平年との差	- 0.6	- 0.1	- 0.3	-14.3	- 0.8	- 0.3	- 0.6	-93.5

7月開催を予定しておりましたが、令和 3年度喜界町糖業振興会総会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面での決議とし、令和 3年 8月 27日必着で書面表決書はすべての議案において過半数の賛成をもって可決されました。尚、生和糖業賞として令和 2年/ 3年度産さとうきび出荷において表彰された生産者は以下の通りです。

生和糖業賞

受賞者の皆さま
おめでとうございます♪

予 約 達 成 賞	ト ラ ッ シ ュ 低 減 努 力 賞		
	手 刈 部 門	H V 委 託 部 門	H V 受 託 部 門
搬入量が100トン以上で予約率が100%に近かった生産者	手刈収穫(HV刈以外)で、50トン以上の出荷があり、トラッシュ率の低かった生産者	HV収穫委託者でトラッシュ率・雑草(その他率)が低かった生産者	HV受託組合で60%以上を受託し、トラッシュ率の低かった生産組合
1位 (荒 木) 福 原 安 成	1位 (池 治) 吉 岡 強	1位 (荒 木) 福 原 安 成	1位 (神 宮) TEAM 神宮
2位 (滝 川) 嶺 茂 彦	2位 (前 金 久) 秋 月 明 男	2位 (手久津久) 加 納 茂 宏	2位 (志戸桶南) 平 田 生 産 組 合
3位 (嘉 鈍) 開 喜 美 夫	3位 (上嘉鉄東) 富 村 利 正	3位 (島 中) 禎 正 利	3位 (中 里) 中 里 サ ト ウ キ ビ 生 産 組 合

さとうきび日記



生和糖業(株)原料係
岩 井 辰 矢 さん
(赤連集落)

入社して、さとうきびに携わっていくうちに自分もきび作りをしてみたいと思うようになりました。畑の都合がついた今年、夏植にチャレンジしてみようと思います。
初心者の私ですが、良かった点、反省点を正直に綴っていきます!!!

8月4日(水) PM

●夏植をするに至り、1回目の耕耘作業を行いました。
この時の耕耘は、トラクターの操作が未熟で切り返しに手間取り、10aで4時間かかりました。
トラクターの傾きが怖く、全然作業が進みませんでした(⊖⊖⊖)

8月28日(土) AM

●2回目の耕耘を行いました。
1回目の耕耘から3週間も間が空き、雑草が生い茂ってました。Ⓜ
出来る事なら、この3週間の間で2回耕耘したかったのですが、気象・タイミングが合わず・・・
今回の耕耘作業は2時間で終わりました。
(ギア1、マルチ2、PTO3で作業)
前回に比べれば、かなり成長しているのではないのでしょうかⓂ
時間を短縮できたのは、大きな畑の耕耘作業をさせてもらい、苦手な切り返しを多く経験することで無駄な動きを減らす事が出来ました(^)v



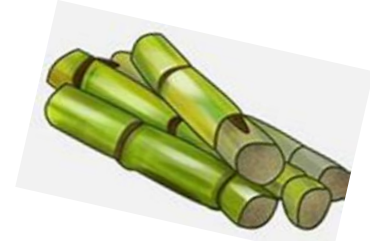
植付前(8月4日)



植付後(8月28日)

8月28日(土) PM

●植付しました。
幸運にも余った苗を頂くことができたので急遽、耕耘→植付しました!原料課の先輩と2人で作業し、1時間半で終わりましたⓂ (土壌病害虫防除用にプリンスベイト使用)



8月29日(日) AM

●土壌処理の為、カーメックスを散布しました。
散布しやすいかなと思い、畝に沿わずに散布してみたら、どこまで撒いたか分からなくなり、このへんだらうと感覚で散布してしまったのは反省点です(ノ)。
あとは機械で植付、覆土したので発芽してくれるかが気になりますが・・・Ⓜ

次のさとうきび通信では、いい報告ができるように
管理作業を頑張っていきたいと思います v (^_^) v

土づくりとは・・・

さとうきびに限らず作物に必要な条件は、日光、温度、空気（酸素・二酸化炭素）、水、養分が適切であることと、作物を害する有害因子（土壌有害センチュウや硫化水素など）がない事である。これらの条件が整わないと、作物は健全に育たない。

土づくりとは、作物の根が十分に伸張り、養分や水分を効率的に吸収できるように、土壌の持つ科学性、物理性、生物性の性質を整える事である。土壌環境が土づくりによって改善されると、作物の生産が安定し向上する。

例えば...

土壌中に養分があったとしても、作物は養分を水に溶けた状態で、主に根から吸収することから、土壌中に水がないと、養分の吸収が抑制され、健全に育たない。

根は地上部を支え、養分と水とを吸収するものであることから、作物は、根が健全に発達していなければ十分に生育できない。

堆肥・緑肥等 施用の効果

腐植含量（炭素含量）を維持、増加させるためには、有機物の施用が必要！

1. 地力を高める、維持する
2. 肥料持ちを良くする
3. 土を柔らかくする
(根の張りを良くする、作業性をよくする)
4. 保水性を高める
(水持ちを良くする)

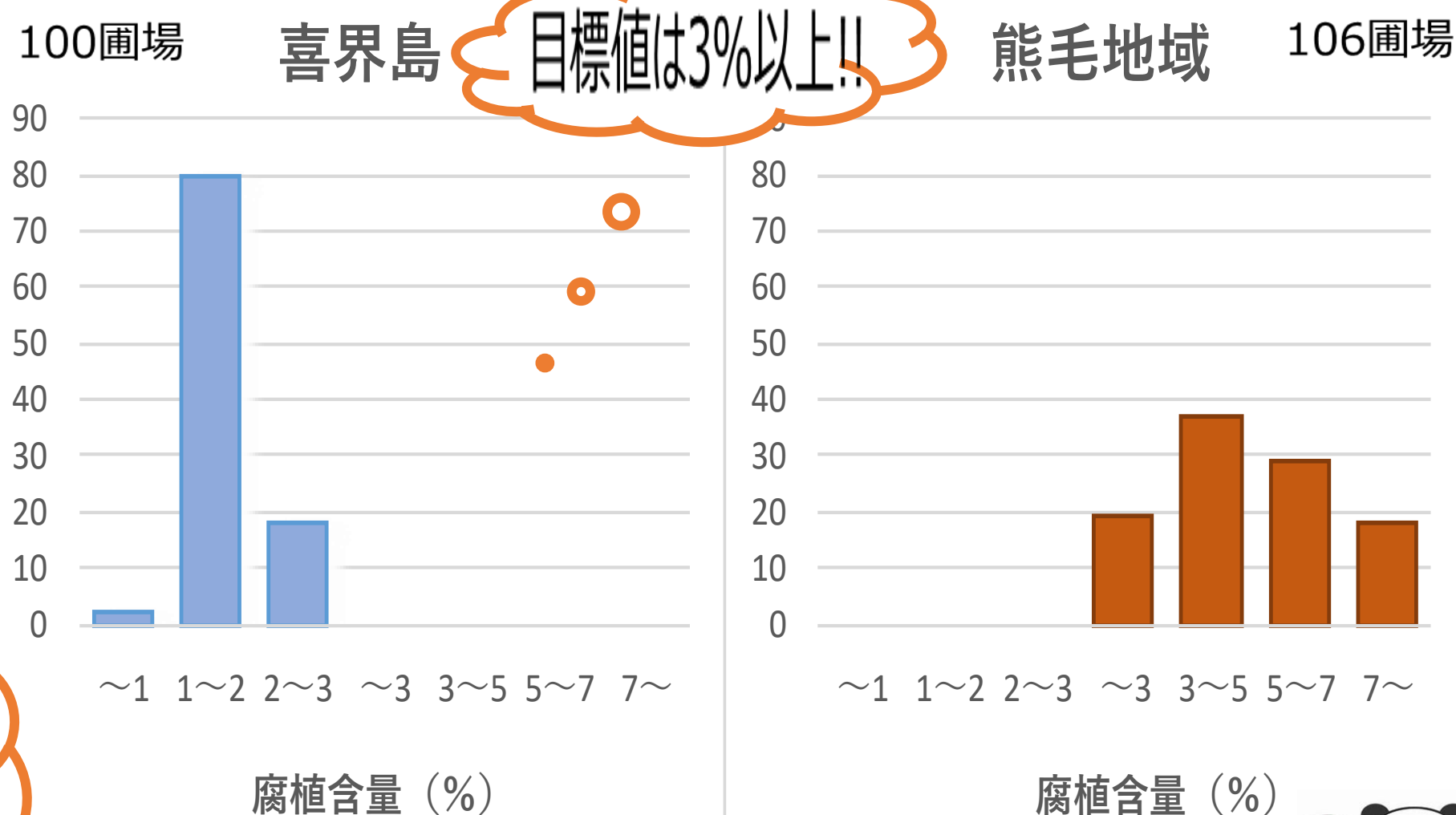
地力を高めて
高糖・高単収
を目指そう!!!

土作り・圃場準備

深耕と有機物の混和を心がけましょう。

根の伸長、発達は生育収量に大きく影響します。そのため、表土の厚さは25～30cm以上が好ましく、耕起の深さは30cm以上が望まれます。下層に硬盤がある場合は60cm程度の深耕や心土破碎を行いましょう

腐植含量の状況（基盤整備前ほ場）



喜界島的全調査圃場が目標値以下!

プラソイラ深耕地



堆肥効果

堆肥の効果は、土壌改良効果・肥料効果の2つです。土壌改良効果は、水分保持能力の向上・肥料成分保持能力の向上があげられます。堆肥を施用することで土壌中に隙間をつくり、ふかふかなやわらかい土にすることができます。またその隙間に水分や肥料成分が保持されることで、植物は育つことができます。

緑肥効果

緑肥作物の土壌へのすき込みは、牛ふん堆肥などと同様の土づくり効果だけでなく、土壌病害虫の抑制や休耕地の被覆効果などもある。また、土壌養分の過不足による地力の低下、土壌生物相の単純化などを改善する効果も期待される。

さとうきび栽培において、適期植付、適期管理は基本中の基本であるが、基本を守っているにもかかわらず単収が上がらないで悩んでいる貴方！堆肥栽培にチャレンジしてはどうだろうか？！

ハーベスタが普及し、畑の地力は年々低下している中、堆肥栽培は地球にもやさしく、土壌のためにもよい。落ち葉のように土壌改良材的な堆肥もあれば、鶏糞のように限りなく化学肥料に近く、強い肥料効果のものもある。堆肥の使い方は、完熟した堆肥を土に入れると言う常識にこだわらず未熟な有機物はマルチをして土ごと発酵させたり、光合成細菌などの微生物を使ってうまく発酵させるなど多様な使い方がある。農家にとって堆肥栽培は、高い肥料の節約にとどまらず、工夫のしがいがある技術なのである。

早くコロナが収束
しますように

